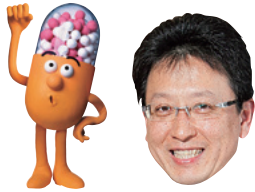


—— ニックネームを教えてください。

ニックネームはあんまり無いんですけど
風邪薬の「コンタック600」のカプセルあるじゃないですか。
うちの娘が『Mr.CONTAC』に似てるって。
似てるでしょ？



—— 政治家になって一番驚いたことは？

何だろうなあ。
「自分が思ってる以上に偉くないよ」ってことかな。

—— 自分の好きなところは？

もともと好きなところだらけ(笑)なんですけど。
どんな人とも
仲良くなろうとするところ。

「こいつ苦手だ」って思う人と仲良くなった時の満足感っていうか。
「いつかわかりあえる」みたいな。すごく平和なヤツです。
あと割りと明るい。あとざっとしてるところ。

(ざっとしてたら)ダメじゃないですか(笑)。

—— 反対にダメだしいたいところは？

猫背。もうこれは「直さんといかん」っと思ってます。



ドラムに胸キュン ～大西市長の青春物語～

小学4年生の時に音楽の先生から「大西くん、あなたはリズム感がいいね」って言われたんです。そう言われて「へえ～～。リズム感がいい、俺は天才だ。そうか。」と思って(笑)。それから打楽器にすごい興味を持つようになったんです。一番衝撃を受けたのは、YMOの高橋幸宏。「何でこの人は機械みたいに正確に叩けるんだろう。すごい！」って。それから嵌っちゃったんですよ。高校生の頃からドラム教室に通い始めたんですけど、楽しくてしょうがなくて。1日に何時間も練習してました。バンドも一番多い時で10個くらい組んでましたかね。それで「よし、俺はこれで食っていこう」と思って、高3の時勝負して、SONYのオーディションを受けることにしたんです。結果は何とグランプリ。バンドデビューには至らなかったんですけど、プロデューサーとかに「(東京に来い)」とか「なかなかセンスあるね」とか声をかけてもらって「あ、やっぱり俺天才だ」って思っていました。それから東京

の大学に通いながら音楽活動をしたんですけど、やっぱりね、上には上がいるっていうか。めっちゃくちゃうまい人は、死ぬほど基礎練習をやるんですよ。メトロノーム見ながら2時間も3時間もず～っと。それ見た時に、「これはとんでもない世界だな」ってすごいビビリが入っちゃったんですね。初めてその時「俺は天才ではない。天才なんていない」って。ある時、あるスタジオで一緒になった人が「あれえ？ここにいたらいけない人、いるんじゃないの」って言うんですよ。もうショックでね。俺のことだと思って。みんな「それで飯食おう」って思ってる人たちだから、気合いが違うんですよ。いざとなったら逃げればいってという学生の僕とは全然。これではダメだよなと思って。結局音楽の道には進まなかったんですけど、そういう世界を見たこと、一流の人たちに触れたこと、そして今でも仲良くさせてもらってることは本当に良かったなって思ってます。

僕って本当はこんな人

大西市長の「B面」



大西 一史 ONISHI KAZUFUMI PERSONAL DATA

- ◆1967年12月9日生まれ(47歳)
- ◆血液型…A型
- ◆身長…175.5cm ◆体重…73kg
- ◆家族…妻、長女、母の4人家族
- ◆好きな食べ物
ラーメン
立ち食いそば(春菊天そば)
パスタ等、麺類を好む

—— モテましたか？

モテました。ええ。(サラッと)

堂々たる言いつぶりに、二の句が継げぬ取材陣。
さらに追いうちをかけるような市長の一言。

『すごいモテました』。✧

取材陣、爆笑。

すごいモテてたっていうのはウソ(笑)ですけど
バンドやってた時は、まあまあモテましたね。
だけど大学時代、女性不審に陥るような出来事があって、
それから僕、しばらく彼女を作らずにいた時期があったんです。
恋愛に臆病になった自分がいましてねえ(しみじみ)。
そんな時期が3年くらいあったかな。

—— 最近ワクドキしたことは？

してないなあ。

とにかく毎日必死で仕事をしてるので、
あまりワクドキする瞬間がないんですよ。

毎日ドキドキ、緊張はしてますけどね。

そういう意味じゃ市長職っていうのはワクドキしますね。

毎日色んなことがあるから。
何かすみません、面白くなくて(笑)。